

KVK シングルレバー上下操作ユニット

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です	 この絵表示は、「接触禁止」の内容です	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
---	--	--	--

やけど・漏水をした場合の処置 やけどをした場合は、すぐその箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

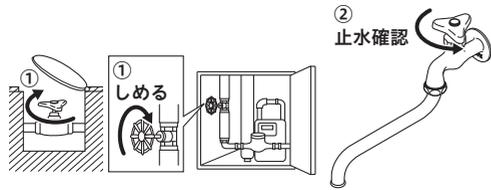
警告	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p>  <p>85℃より高温</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用はしないでください。</p>  <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いのときには水栓本体が熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p>  <p>やけどをするおそれがあります。</p>
	<p>同梱の部品以外は使用しないでください。</p>  <p>器具が破損しけがをしたり、漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>洗濯機用水栓や先止めタイプの水栓には使用できません。</p>  <p>器具が破損し、漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p>  <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>
注意	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外のことをはしないでください。</p>  <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p>  <p>めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p>  <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>レバーハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p>  <p>急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>今お使いの水栓本体に取り付け使用するため、お使いの水栓本体に不具合がないか確かめてください。</p>  <p>水栓上部に腐食、ひび割れ、漏水などがあると、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を行ってください。</p>  <p>凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

取り付け方法

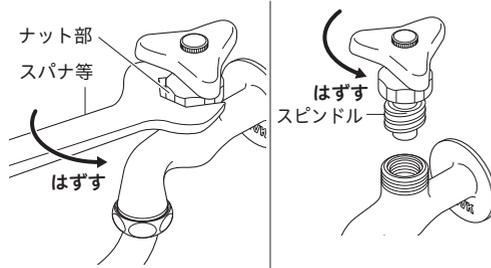
※取り付け前に配管内のゴミなどを洗い流してください。

[取り付け方法は代表例で説明しています。現在ご使用の説明書と合わせてご確認ください。]

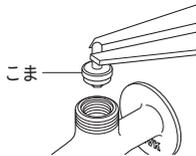
- ① 止水栓をしめて湯水が出ないことを確認します。
- ② ハンドルを開き、止水できていることを確認します。



- ③ 水栓上部のナット部にスパナ等をかけて回し、ハンドルをゆるめてスピンドルをはずします。

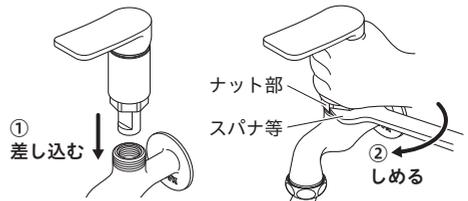


- ④ 水栓内部にこまが残っている場合は取り出してください。



- ⑤ 本製品を水栓本体に差し込み、本製品を手で固定しながら、ナット部をスパナ等で締め付けます。
※レバーハンドルを使用したい位置に合わせてからナット部を締め付けてください。

【△注意】締め付けトルクの目安は500N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、破損や漏水の原因となります。



- ⑥ レバーハンドルが止水状態であることを確認してから止水栓を開けて通水確認をし、水漏れがないことを確認します。

通水確認時に水漏れが発生した場合には、レバーハンドルを止水状態にし、止水栓を締めて、下記のとおり取り直ししてください。

※ナット部からの水漏れの場合
同梱のパッキン(1mm)を「1枚」ナット内部に入れて再度ナット部を締め付けてください。

※完全に止水できない場合
(吐水口からの水漏れ)

ナット内部に入っているパッキン(3mm)を抜き取り、同梱のパッキン(1mm)を「2枚」ナット内部に入れて再度ナット部を締め付けてください。



※取り付け直後、レバーハンドル操作が重い場合がありますが、しばらくご使用いただくと操作が軽くなります。

ご使用方法

レバーハンドルを上げると吐水、下げると止水します。レバーを上げるほど、流量が増します。

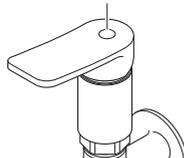
【お願い】

レバーハンドルは左右には回転しません。
無理に回さないでください。
※製品取り付け前に比べて吐水流量が低下します。



給湯に使用する場合、同梱の赤丸シールをハンドル上面へ貼り付けてください。

赤丸シール



凍結予防のしかた

●水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。

一般地仕様の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ・水栓より少量の水を出しておく。
- ・配管部などに布を巻く。

寒冷地仕様の場合

- ① 配管の水抜き栓を操作する。
- ② レバーハンドルを上げる。
- ③ 水栓本体側に水抜き栓が付いている場合は水抜き栓を開ける。

※再通水時は、水抜き栓が閉まっていることを確認してから通水してください。

